

国土交通省 | 天竜川上流河川事務所



DATE: 令和2年3月4日

国土交通省 天竜川上流河川事務所

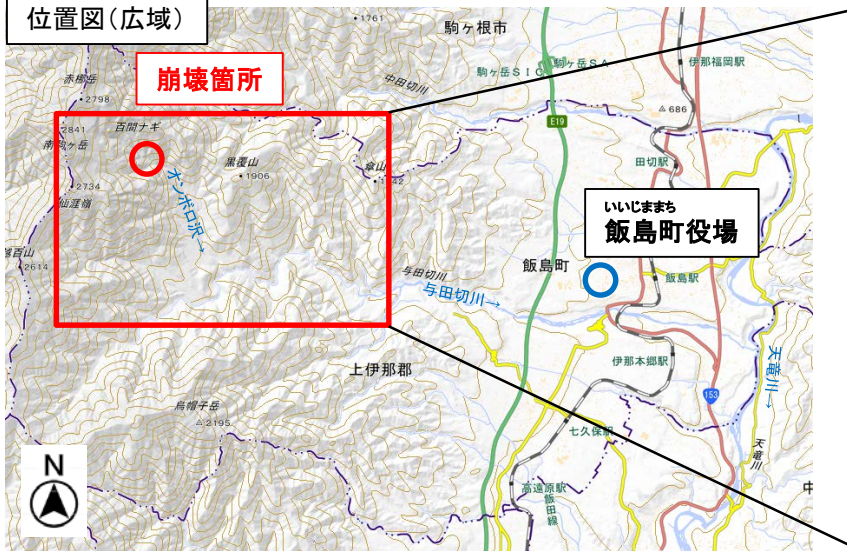
- 件名** 【速報】天竜川水系 与田切川（オンボロ沢）で土砂崩壊を発見
- 概要** 航空レーザ測量の結果、天竜川水系 与田切川左支溪オンボロ沢にて大規模な土砂崩壊を確認しました。
- 内要** 天竜川上流河川事務所が今年度発注した航空レーザ測量の結果と過去の航空レーザ測量結果との解析の結果、大規模な土砂崩壊を確認しました。
崩壊の大きさは、幅100m、奥行き220mで、崩壊した土砂約17万立方メートルが溪流に堆積しています。
なお、溪流の堰き止めは発生していないこと、崩壊箇所の下流には8基の砂防堰堤があり、約27万立方メートルの容量が確保されていることから、緊急性は低いと判断しています。
今後の安全対策として、土石流が発生したことを自動で知らせるワイヤーセンサーの設置、砂防堰堤の除石工事等を検討しています。
- 資料** 添付資料 1枚
- 解禁** 指定なし
- 同時配布** このお知らせは、伊那記者クラブ、飯田市記者クラブ、駒ヶ根市記者クラブに同時配布しています。
- 問合せ先** 国土交通省 中部地方整備局 天竜川上流河川事務所
副所長 鈴木 豊
砂防調査課長 澤田 宗也

[TEL : 0265-81-6411](tel:0265-81-6411)

与田切川(オンボロ沢)における大規模な土砂崩壊

- ・大規模な土砂崩壊を発見し、溪流に土砂堆積を確認した。深層崩壊と推定される。
- ・崩壊の大きさ [幅 約100m、奥行き 約220m] 溪流に堆積している量 約17万 m^3
- ・溪流の堰き止めは発生していない。

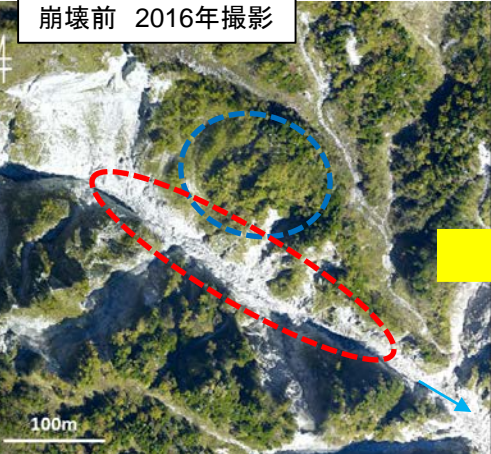
位置図(広域)



航空写真



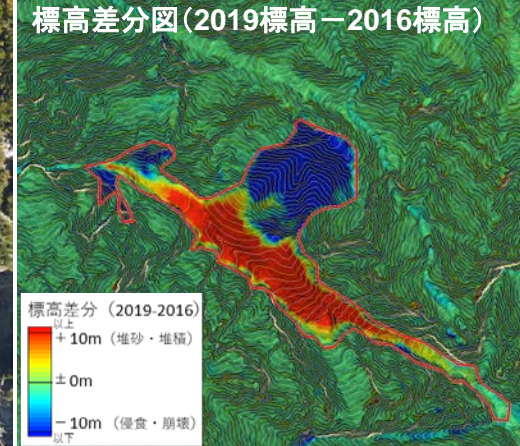
崩壊前 2016年撮影



崩壊後 2019年10月撮影



標高差分図(2019標高-2016標高)



＜今後の安全対策＞
○溪流の堰き止めは発生していないこと、下流の砂防堰堤8基で約27万 m^3 の容量が確保されていることから、緊急性は低いと判断。
○安全のため土石流が流下した際に速やかに検知し、河川利用者、飯島町に周知するためワイヤーセンサー等の設置。
○既設砂防堰堤の除石工事の発注を検討。